

みどらん (7月号)



【総会のご報告と今後の活動について】

【春の行事報告】

- ・「全国みどりと花のフェアかつしか」見学会

【活動のご報告】

- ・花苗基金の申し込み状況
- ・夢の島イベント(第4回 TOKYO PARK GARDEN AWARD)

【コミュニティガーデン支援事業のご報告】

- ・みんなで楽しむコミュニティガーデン入門講座
- ・コミュニティガーデン・ウォークラリー お試し版の実施
- ・地区別交流会 湾岸地区／深川地区

【今後の予定】

- ・生物多様性フェア2026
- ・花端サロンの報告と今後の予定
- ・秋の行事予定
区民まつり・グリーンフェスタ

別紙【夏のお手入れカレンダー】

- ・7月・8月のお手入れ

総会のご報告と今後の活動について

令和8年の定例総会は、5月16日(土)に東陽町の産業会館で行いました。参加者は会場出席者20名、委任状27名の合計47名でした。総会では5つの議案を提出、何れもご承認を頂きました。(総会欠席の方には、議案書を同封しますのでご覧になって下さい。)

ご承認頂いた議案の中で、特に大切な3点について、ご報告をいたします。

① 役員の退任と新役員の就任

長く役員としてみどりネットKotoを支えて頂いた永井薫子さんが昨年度で役員を退任されることになりました。会員の皆さんの中には、永井さんに誘われてみどりネットKotoに参加したという方も多いことと思います。永井さんがいらっしゃらなければ今のみどりネットKotoはありませんので、本当に感謝しかありません。

また、新たな役員として肥沼理恵さんと松田恵さんに就任して頂きました。お二人には昨年度からサポートスタッフとして、肥沼さんにはC G支援事業のアドバイザー派遣やパンフレットのイラストなどで、また松田さんにはみどらん編集などで活躍頂いておりましたが、改めて役員になって頂きました。

② 「みらい花基金」の設立

昨年度までみどりKotoの繰り越し金から5万円を花苗基金に充ていましたが、花苗基金の繰り越し金が当面の助成には十分なことから、この5万円を「みらい花基金」として花苗基金とは別の枠組みによる活動助成に充てることとしました。(次ページへ)

「みらい花基金」の助成内容については、花端サロンでの話し合いを踏まえて、役員会で決定し、みどらん9月号で募集する予定にしています。

③ 事務局費用の予算計上

みどりネットKotoの運営について、CG支援事業など委託業務として行っているものは作業内容に応じて労務費をお支払いしておりましたが、その他のものは基本的に無償として行ってきました。一方で、活動内容の広がりとともに、運営に要する作業量が多くなっています。

そこで会計の決算作業やみどらん編集など、専門性の高い作業（その人でないと出来ないような作業）については、ある程度の労務費をお渡しし、その労をねぎらいたいと思います。そのための予算として8万円を事務局費として計上させてもらいました。

事務局費の使い方については、会計の状況などを踏まえながら、役員会で決めて行きたいと思いますので、ご了解をお願い致します。

以上になります。この1年も、皆様のご協力をいただきながら‘花と笑顔にあふれる街づくり’を進めてゆきたいと思いますので、よろしくお願い致します。（■美濃又哲男）

永井さんより皆様へ

5月16日のみどりネット総会をもちまして役員を卒業しました。金森フラワーガーデン、東陽ひだまり、豊洲シーサイド、深川なごみ、川南いろどり、森の子575、中川そよかぜ、赤レンガしガーデン、北砂ガーデン、元加賀ほほえみの立ち上げから関わってきました。一つのガーデンができるたびに毎回学習でき、花に関する知識もついてきて、私のガーデニングの歴史となりました。これからはボランティアとしてみなさんとコミュニティガーデンを楽しむとともに、初めての人にコミュニティガーデンの楽しさを伝えていくつもりです。知識も豊富、行動力もある役員と共にみどりネット会員みなで、夢のあるみどりネットkotoを!!



🌸 永井さんの長年に亘るご尽力に役員一同感謝申し上げます。

今後も健康にご留意頂き、末永くガーデン活動を見守って頂けると幸いです。

これからも花友と心ゆくまでガーデン活動をお楽しみくださいね。（役員一同）



「全国みどりと花のフェアかつしか」見学会

全国で初めてとなる緑化イベント『全国みどりと花のフェアかつしか』が5月16日から6月14日まで開催されていました。

みどりネットkotoでは5月25日に参加者24名で見学に行きました。

アクシデントはあったものの、初夏の日差しが丁度良く、会員同士の交流もできてとても良い1日になりました。また次の企画を楽しみにしててくださいね。（■井本和歌子）



イベント係として企画した「全国みどりと花のフェアかつしか」への見学会は、皆様のおかげで大成功となりました。

当日の朝は千代田線の停電という思わぬアクシデントがありました。そのまま待つ乗車された方は無事に集合に間に合い、迂回して京成線を使われた方が最後になるというハプニングにハラハラしましたが、全員無事に集まることができ胸を撫で下ろしました。

にいじゅくみらい公園では、葛飾区役所の方から丁寧なご説明を受け、緑あふれる景色の中で少し珍しいお弁当をいただき、和やかな時間を過ごしました。

理科大を見学した後は、帝釈天でお参りをし、柴又の山本亭へ。美しいお庭を眺めながらいただくお茶とお菓子は、歩き疲れた体がほっと癒やされました。のんびりと矢切の渡しを見学し、高木屋さんでは美味しい草だんごをお土産に買い求めました。

美しいお花や緑に触れ、皆様の笑顔と優しいお喋りに包まれた一日は、私にとっても大切な心の栄養になりました。これからも、心がふんわりと温かくなるような楽しい企画を考えていきたいです。ご参加くださった皆様、ありがとうございました。（■今泉淳子）

会場の様子



山本亭



花苗基金の申し込み状況

今年度の花苗基金への申し込みですが、6月20日時点で、以下の33団体から申し込みがありました。抜けや誤りがないか、ご確認をお願いいたします。

赤レンガしガーデン、有明湾岸ファイトクラブ、憩う★花海どうの会
大島ハーブガーデナーズ、大島四丁目町会長寿ひまわり園芸クラブ
亀戸南公園ガーディナーズ、亀九緑花ガーデン、亀七南ガーデニングクラブ
川の駅そよかぜガーデン、北砂花友ガーデン、キャナルタウン浜園花の会
江東区更生保護女性会「みどり」、江東区立南陽幼稚園、江東ハーブ会
^_^川南いろどりガーデン、東友会、東陽ひだまり、豊洲6丁目SKYZ自治会
豊洲おもてなしガーデン、豊洲シーサイドガーデン、豊洲セントラルガーデン
豊住ローズパティオ、どろんこ倶楽部、1002にじいろガーデン
ハッピーおもてなしガーデン豊洲6、ひまわりの会、フェアリーガーデンあさなぎ
深川第八中学校(八中丸地域クルー)、深川なごみの庭、冬木武田堀ガーデン
牡丹2、3丁目笑寿会、森の子575、八名川花の会(あいうえお順)

(■美濃又哲男)

夢の島イベント(第4回 TOKYO PARK GARDEN AWARD)

みどりの日の5月4日、TOKYO PARK GARDEN AWARD ガーデンフェスティバルが夢の島公園グリーンパークにて行われました。みどりネットKoto有志「ことウェル」が「たねダンゴを作ろう!」と「ハーブ&ユーカリの天然サシェ作り」のワークショップで参加しました。たねダンゴは家族やお友達と楽しく作って持ち帰りできました。夢の島のユーカリや江東区のコミュニティガーデンで収穫された花や葉などを材料としてサシェを作成しました。皆様のご協力またご来場ありがとうございました! 強風で材料や看板が飛ぶハプニングもありましたが、たくさんのお客様に体験していただき、大盛況のうちに終了しました。(■肥沼理恵)



みんなで楽しむコミュニティガーデン入門講座

6月1日・8日にコミュニティガーデン入門講座(全2回)を開催しました！
今回の講座には約10名の方が参加してくださいました。

第1回は「コミュニティガーデンって何？」「どうやって始めるの？」というお話からスタート。座学の後、区役所のナチュラルスティックガーデンや東陽ひだまりへ出かけ、実際の植物や植栽の様子を観察しました。

そして第2回はいよいよ実践編。現場は浜園公園です。

目の前のたくさんの苗を見ながら、

「背の高い植物は後ろかな？」

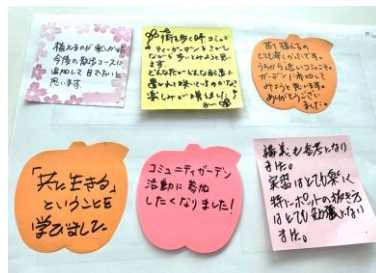
「この色の隣には何を植えよう？」

「ここに流れをつくと素敵かも。」

参加者の皆さんがガーデンデザイナーです。一つの花壇をみんなで作り上げていく時間は、コミュニティガーデンならではの楽しみの一つだと思います。

講座後の皆さんの感想を聞き、たった2日間でしたが、植物を見る目が少し変わった方もいたようです。

今回の受講生の皆さんの中に自分の地域でもやってみたい！というガーデナーが誕生する事を楽しみにしています。(■中村聖子)



コミュニティガーデン・ウォークラリー お試し版の実施

今年度初めて行う企画として、5月20日から6月5日の期間でコミュニティガーデン・ウォークラリーを実施しました。昨年までの「花とみどりのお散歩隊」に代わるものとして、コミュニティガーデン活動のPRを目的に東陽地区の16のガーデンを対象に行いました。初めて行うものなので、今回はコミュニティガーデン関係者の間でお試し版として実施しましたが、秋には区報や掲示板などに載せ、広く公開した形で行います。

6月の地区別交流会においても、話し合いのテーマとして取り上げ、

- ・ガーデンの場所が分かりにくい。
- ・チェック項目の内容が今一。
- ・何かきっかけがあると、参加しやすい。
- ・行ったことのないガーデンに行けて、楽しかった。

等々、様々な意見を頂きました。

手探り状態で始めた企画ですので、試行錯誤が続くことになりましたが、皆で楽しめる企画として育てて行きたいと思っています。

PS. 追記 秋のウォークラリーは10月12日(月)から、同じく東陽町周辺を対象に実施いたします。(■美濃又哲男)



地区別交流会（湾岸地区）

4年目を迎えた地区別交流会は、湾岸地区のコミュニティガーデンからスタート、6月5日(金)午後開催。昨年と同様16名の方にご参加いただきました。

今年度は豊洲文化センターにてたねダンゴをつくりながら、各テーブルでお話が盛り上がりしました。春まきダンゴは【クレオメ・百日草・コスモス・ハゲイトウ・センニチコウ】がミックスとなっています。

ワークショップ後は日々のお手入れの質疑や「豊洲花壇の会」の取組みの紹介、今年度初の試みのウォークラリーについて話が広がりました。

ガーデンで増えた立派なスイセンの球根のおすそ分けも行われ、心温まる交流会となりました。（■山本夏実）



地区別交流会（深川地区）

6月15日(月) 江東文化センターにて深川地区の地区別交流会が開催されました。たねダンゴづくりでは、赤玉土とケト土を混ぜるところから体験いただき、童心に戻った柔らかい心でたくさんの意見交換がなされました。オルレアの話題から実際に種まきをした植物についての話など、話題は尽きることなく進み、この日のおすそ分けはアスパラガスに参加者の方が「育て方」と共に分けて下さり、長く収穫できる植物と共に、今日の一日を共にした余韻に浸りました。（■山本夏実）



生物多様性フェア2026／7月10日(金)～20日(月)

江東区の生物多様性やみどりに関わる市民団体、学校、企業、区役所などが一堂に会してポスター展示を行う生物多様性フェアが、今年も開催されます。出展者は昨年より2団体増え31団体となりました。区内で行われている様々な活動について知ることができると思いますので、ぜひご覧になって下さい。

●ポスターセッション

フェア中の17日(金)、18日(土)の午後にはポスターセッションが行われ、みどりネットKotoでもコミュニティガーデン活動の紹介を行います。

●エクスカーション

7月11日(土)午前には、仙台堀川公園のエコスペースから野鳥の島、横十間川のエコスペース(コフロス)を巡るエクスカーションが行われます。普段は入れない保護区の見学を行いますので、こちらにもご参加下さい。

(☛美濃又哲男)

エクスカーションの詳細
お申込み



《昨年写真》



みどりネットKoto展示パネル



ポスターセッションの様子

花端サロンの報告と今後の予定

4月25日(土) 於. パルシティ江東 参加者11名

葛飾見学会の事前打ち合わせや、社会福祉協議会へ活動助成申請、コミュニティガーデンウォークラリーの解答用紙などについて話し合いました。

●今後の予定

7月25日(土) 会場：猿江地区集会所(猿江1-11-5)

※猿江一丁目公園の隣にあります。

8月22日(土) 会場：江東文化センター会議室

何れも午後2時開始となります。

秋の行事や、みらい花基金などについて、話し合いますので、よろしくお願いいたします。

(☛美濃又哲男)



《猿江地区集会所案内図》
江東区猿江1-11-5

秋の行事予定

【区民まつり】

10月17日(土)、18日(日)に木場公園で開催されます。
みどりネットKotoの出展については、10月18日のみとなります。

【グリーンフェスタ】

11月15日(日) 東陽公園で開催されます。今回で10回目の開催となります。

皆様ご予約のほどよろしくお願いいたします。(☎美濃又哲男)

《昨年の様子》

区民まつり



グリーンフェスタ



★みどらん令和8年9月号の原稿を募集いたします

活動報告、お花の写真等々、テーマはご自由ですので、是非皆さんのお声をお寄せください。原稿はLINE、メール、郵送でも構いません。

締め切り 8月20日

送り先・問合せ先 江東区猿江1-23-2-101 090-1032-6773

fwij2713@nifty.com 美濃又

みどらんをLINEではなく郵送で送ってほしい方は、遠慮なくお知らせください。

【ホームページ】



Instagramにお手入れの動画を掲載しています。



編集後記：永井さんがご勇退され、新米松田は淋しさと不安満載ですが、経験豊富な皆様のお力をお借りしつつ、微力ながらお役に立てるよう精進していきたく思います。春の見学会や地区別交流会に多くの方のご参加ありがとうございました。たねダンゴの生長はその後いかがでしょうか。これから暑い夏を迎えますので、人も花も夏バテしないよう無理せず協力し合って夏を乗り切っていきましょう。(☎松田)

第142号 みどらん 7月号
2026年 7月 1日
発行人 みどりネットKoto
発行責任者 美濃又哲男
江東区猿江1-23-2
編集責任者 松田 恵

夏のお手入れカレンダー

★7月のお手入れ★

～作業の手間と温度を下げる「省エネ管理術」～

7月は本格的な猛暑に向けて、極力エネルギーを使わない工夫と、植物自身を「夏休み」させる切り戻しを行います。

①サマーカット（夏の切り戻し）で花も一休み

多くの植物は、気温が30度以上になると新しい花芽（はなめ）を作らなくなってしまう。そのため、7月末までに大胆に切り戻しをして一度株を休ませてあげましょう。こうすることで真夏の無駄な体力を抑え、涼しくなる9月頃から再び綺麗な花を咲かせてくれます。人も花も、ここで無理せず一休みです。

②草むしりはしない「高刈り」

真面目に根から抜くと、土に光が当たり次の雑草がまた生えてしまいます。30cmの高さでカットするだけに留め、作業時間を大幅に短縮します。

③土を隠す「マルチング」

抜いた草や堆肥（つちひめなど）を、株元の見えている土へ3cmの厚みで敷き詰めます。光を遮って雑草の発生自体を予防し、その後の草むしり作業をなくします。

④カタバミは抜かずに残す

背が高くなり緑のカーペットになる「カタバミ」は、地面の温度上昇（アスファルトが70度近くになるのに対し、緑の上は30度台に抑制）を防いでくれます。あえて「見なかったこと」にして残し、地熱を下げましょう。

★8月のお手入れ★

～熱中症を防ぐ「休み方のルールと仕組み作り」～

8月はガーデン作業そのものを最小限に抑え、メンバーの命を守るための「休み方のルール実践」に特化します。

①「休む勇気」を仕組みにする

暑い時期の無理は禁物です。個人の我慢に頼るのではなく、チーム全体で「具合が悪い時はすぐに休む」という空気を作ります。

②参加のハードルを徹底的に下げる

「毎回来なければいけない」という義務感をなくし、「夏の暑い時期は作業時間を短縮する」「月に1回、なんなら年に1回でも顔を出してくれば100点満点」といった、お互いがラクになる緩やかなルールを共有します。

③頑張りすぎない声かけ

地域のシニア活動や体操と同様に「お互いに無理をしない」「休んでいいよ」と声を掛け合い、楽しみを長く続けるための「お休み期間」として8月を捉え、上手に夏を乗り切りましょう。（☛東方陽子）

